

2026年3月2日

報道関係各位

4者間で地域包括連携協定を締結

大豊町の次世代教育を通じて、生物多様性・自然環境保全や地域振興へ

株式会社ツムラ（本社：東京都港区、代表取締役社長 CEO：加藤照和、以下ツムラ）は、高知県大豊町の子どもたちを対象とした次世代教育を通じて、地域の生物多様性・自然環境保全や地域振興につなげていくことを目的として、2月19日(木)、高知県大豊町、認定NPO法人四国自然史科学研究センター（以下「四国研」）、農事組合法人ヒューマンライフ土佐（以下「HL 土佐」）との4者間で、地域包括連携協定を締結したことをお知らせいたします。



協定式当日の様子（2月19日）

■ 協定締結の内容

本協定の主な内容は、大豊町立大豊学園（以下「大豊学園」）の「総合的な学習の時間」において、「自然・歴史・産業」に関する地域に根差した学習プログラムを提供することです。この取り組みを通じて、次世代育成を通じた持続可能な生物多様性・自然環境保全、地域振興などを目指します。

自然と健康を科学する

お問い合わせ先

株式会社ツムラ コーポレート・コミュニケーション部 広報課 担当：吉崎

〒107-8521 東京都港区赤坂 2-17-11 TEL.03-6361-7100 shuzai@mail.tsumura.co.jp

■ 協定締結に至った背景

大豊町は、2009年から原料生薬である山椒（サンショウ）の栽培に取り組んでいて、生産者の数はHL土佐が管轄する地域の中で、越知町に次いで2番目の規模です。同町は傾斜地が多く、水はけがよいこと、また山間地域のため風通しが良いことなどから、サンショウを安定的に生産できる最適な環境条件が備わっております。

漢方薬の原料となる生薬を使用しているツムラでは、子どもたちへの教育活動を通じて、国内における主要な産地の一つである大豊町の自然環境の保全と地域振興につなげるとともに、地域の自然環境や生物多様性、歴史・産業への関心を高め、将来の地域を担う人財の育成につなげるため、今回の締結に至りました。

■ 具体的な取り組みについて

小学校の6年間・中学校の3年間で一貫した教育を行う義務教育学校である「大豊学園」の7年生の生徒を対象に、「自然・歴史・産業」の3つのキーワードを掲げて教育支援活動を実施いたします。動物・植物のそれぞれのアカデミアである四国研、HL土佐の協力のもと、町内に定点カメラを設置して生物多様性を学ぶ「生き物観察」、地域の産業について理解を深めていただく「生薬収穫体験」の他、町内の木材を使用した大豊学園の木造建築について学ぶ「特別授業」の実施などを予定しております。

■ 代表者によるあいさつコメント（一部抜粋）



ツムラ 経営統括本部
サステナビリティ推進部
部長 犬飼 律子

大豊町で栽培いただいているサンショウは、当社の医療用漢方製剤の売上第1位の「大建中湯」にも含まれており、日々栽培いただいている大豊町の皆さまには大変感謝しています。

生物多様性や自然環境保全について学ぶ次世代教育を通じて、地域の魅力や漢方薬について興味を持っていただけるきっかけになれば大変嬉しいです。持続可能な農業をできる環境づくりについて、私たちも一緒に考えていきたいと思っております。



高知県大豊町
町長 下村 賢彦

今回、地域包括連携協定を結ぶことができ、大変嬉しく思っています。町では以前から耕作放棄地の解消などを目指してサンショウの栽培などの取り組みを進めてきました。

大豊学園の生徒の皆さんにはぜひ、サンショウの収穫体験などを通じて、地元の自然や産業、歴史などを幅広く学んでいただき、将来に役立てていただけることを願っています。



農事組合法人
ヒューマンライフ土佐
代表理事 高橋 昌彦

HL 土佐では、およそ 15 年前から大豊町でサンショウやダイダイなどの薬用作物を栽培いただいております、長きにわたって交流が続いています。

夏にはサンショウの収穫体験も予定していますので、大豊学園の皆さんには、収穫体験活動を通じて、大豊町の豊かな自然を感じていただくとともに、農業のやりがいや地域の魅力を感じる場になれば大変嬉しいです。



認定 NPO 法人
四国自然史科学研究センター
理事長 濱田 哲暁

今年で 23 年目を迎える四国研では、大学や博物館で研究に取り組んできたメンバーが、鳥獣害対策や、野生生物、自然環境の調査研究など、さまざまな分野で四国の自然に関する研究に取り組んでいます。

これまでの研究で培った技術や知見を活かし、大豊学園の皆さんには、地元の自然環境を題材とした、さまざまなプログラムを通じて、学びを深めてもらいたいと思っています。

■ ツムラの取り組みについて

漢方薬を中心とする天然物由来の医薬品・製商品を取り扱うツムラでは、豊かな自然環境を未来につなぐため、サステナビリティビジョン「自然と生きる力を、未来へ。」を掲げ、持続可能な人間・社会・地球環境の実現を目指しております。ツムラの事業は、原料生薬の栽培から始まる漢方バリューチェーンで構成されており、自然環境と深く結びついております。

国内における重要な産地である大豊町は、豊かな自然に恵まれ、歴史と伝統を有する地域です。ツムラは次世代育成を通じた持続可能な生物多様性・自然環境保全、地域振興などを目指すとともに、今後も生薬栽培を通じて、地域とともに新たな価値の創造に取り組んでまいります。

以上